

(様式第 16 号)

令和 5 年度みやぎ環境交付金事業 (計画・実績) 概要書

市町村名	登米市	
事業名	環境教育実践事業	
<事業目的>		
地域での自然環境の保全や、多様化する環境問題に対応していくためには、自分達が住んでいる地域の自然環境に関心を持ち、市民一人一人が環境保全のために行動することが重要である。そのため、環境教育に関して連携協定を締結している宮城教育大学をはじめ、環境関連団体の有識者や環境保全活動を行っている方等と協力して各種環境教育実践事業を実施することで、地域住民の環境保全に対する意識の啓発を図り、豊かな自然を次世代に引き継ぐことを目的とする。	二酸化炭素削減効果	kg-CO ₂
	その他の効果	931 人
<事業内容>		
①環境出前講座		
環境について学習する機会を創出するため、申請があった市内小中学校及び地域に講師を派遣し、自然とのふれあい体験等を取り入れた総合的な環境講座を実施するもの		
・ 計画回数：25 回 ・ 参加者 (計画)：750 名		
・ 実績回数：31 回 ・ 参加者 (実績)：872 名		
・ 実施時期：5 月～1 月		
		
環境出前講座の様子		
②環境市民会議協働事業		
登米市環境基本計画に基づき、市民・事業者・団体・行政の協働組織として設置された登米市環境市民会議において、人と自然が共生する地域づくりを考え、地域住民の環境に対する意識の啓発を図るため、シンポジウムを開催するもの		
・ 実施回数 1 回		
・ 参加者 市民 59 名		
・ 実施時期 2 月		
		
シンポジウムの様子		
当年度の事業費 411,510 円		